

# 写 運 中 真 河 川

展  
覧  
会

NAKAGAWA

CANAL

PHOTOGRAPHS

2012年3月6日〔火〕－18日〔日〕

10:00－18:00

12日〔月〕は休み 全曜日は20:00まで

土曜・日曜日は17:00まで

入場無料

名古屋都市センター11階

まちづくり広場企画展示コーナー

尾野訓大

ONO Kunihiro

先間康博

SAKIMA Yasuhiro

櫃田珠実

HITSUDA Tamami

村上 誠

MURAKAMI Makoto

中川運河は、半世紀ほど前まで名古屋の産業を支えた水運の要として、重要な存在でした。今は、その役割をほぼ終えましたが、開門をはじめとする遺産は、地域の歴史を語り継いでいます。都心に豊かな水面を提供するその景観もまた、代えがたい資産です。

この展覧会では、4人のアーティストが2010年より、運河とその周辺に繰り返し足を運び撮影した写真を展示します。彼女、彼らがとらえた運河は、私たちが思い描き、あるいは見ているその風景と必ずしも同じではありません。写真は、中川運河の風景をあらたに発見します。そして、その眼差しはこの地域の未来の有り様へむけて投げかけられているかのようです。



尾野訓大 御手洗と木の調整



先間康博 中川運河No.11 名古屋市中川区柳原町



櫃田珠実 canalbank Feb.



村上 誠 水の道II-5

シンポジウム

「中川運河の景観と写真の眼差し」

3月11日〔日〕 14:00－17:00

名古屋都市センター11階 ホール

入場無料

定員：100名(先着順)

主催：名古屋都市センター・デザインリテラシー研究会

〔申込方法〕

電話 052-678-2216(月曜休み)

FAX 052-678-2211

Eメール chosaka@nui.or.jp

氏名・電話番号をお書きの上、

お申し込みください。

シンポジウムでは、4人のアーティストによるギャラリートーク、岡田昌彰さんによる景観と、能勢陽子さんのアートと写真についての講演、そして企画者らを集めたディスカッションをおこないます。中川運河周辺域の風景の魅力、写真と風景との関わりについて、今後の景観づくりを視野に入れながら話し合います。

〔シンポジスト〕

岡田昌彰 おかだまさあき

近畿大学理工学部社会環境工学科准教授。専門は景観工学、土木史、ヘリテージスタディ。主な著書は、『テクノスケープ～同化と異化の景観論』（鹿島出版会 2003年）、『図説・日本の近代化遺産』（共著）（河出書房新社 2007年）、『日本の土木遺産』（共著）（講談社ブルーバックス 2012年）等。詳細は、<http://www.geocities.jp/okdokdok/Keikan/OKD.htm>

能勢陽子 | のせようこ

豊田市美術館学芸員。現代美術担当。豊田市美術館にて「ダブルバー島への旅／曾根裕」（2002年）、「ガーデンズ」（2006年）、「Blooming:日本-ブラジル:きみのいるところ」（2008年）、「石上純也-建築のあたらしい大きさ」（2010年）、バンコクにて「Twist&Shout」（国際交流基金主催）などを企画。現在は、豊田市美術館にてボリス・ミハイロフ、ソフィ・カル、志賀理江子らを紹介する「みえるもの／みえないもの」開催中。

写真集「中川 運河 写真」出版記念パーティー

3月11日〔日〕 17:30－19:30

名古屋都市センター11階 カフェ

会費：5,000円(軽食、写真集代金含む)

定員：60名

主催：eight 問合せ：080-3624-7344

〔申込方法〕

FAX 052-789-4774

Eメール nakagawa.canal.photo@gmail.com

氏名・電話番号をお書きの上、

お申し込みください。

写真集

「中川 運河 写真」

2012年3月8日発売

96頁／写真40点

縦290mm×横225mm 上製本

3,000円(税込3,150円)

◎展覧会に関する問合せ先

名古屋都市センター

調査課

TEL 052-678-2216

名古屋都市センター

名古屋市中区金山町一丁目1番1号金山南ビル内

併設展示

「中川運河の写真で遊ぶ」

中川運河に対するもう一つの眼差しとして、市民が水上から撮影した写真を使って、

国際デザインセンターでおこなったワークショップの成果物を展示します。合わせてご覧下さい。

写 運 中  
真 河 川

NAKAGAWA  
CANAL  
PHOTOGRAPHS